

令和7年度
児童発達支援事業所・放課後等デイサービス事業所
専門研修①



発達障害の基礎知識

静岡市発達障害者支援センター「きらり」

始めに・・・

静岡市発達障害者支援センター「きらり」 の紹介

社会福祉法人 恩賜財団 済生会支部 静岡県済生会
静岡市発達障害者支援センター「きらり」
所在：駿河区曲金5丁目3-30
電話：054-285-1124

- 平成19年10月に開所しました。 現在10名のスタッフがいます。
- 業務内容は、相談支援・発達支援・就労支援、普及・啓発・研修などを行っています。
- 診断や検査はしていません。
- 初回相談の約8割は、診断のない方からのご相談です。
- ご本人やご家族、支援者と一緒に、
どうすればその人らしく過ごせるかを一緒に考えます。



※済生会病院の北側(道路向)

本日の予定

1.発達障害とは

自閉スペクトラム症

注意欠如多動症（ADHD）

学習障害（LD）

その他 お伝えしたいこと



2.疑似体験

3.支援について

1. 発達障害とは

「自閉症、アスペルガー症候群その他の広汎性発達障害、学習障害、注意欠陥多動性障害その他これに類する脳機能障害であってその症状が通常低年齢において発現するもの」（発達障害者支援法）

- 「親のしつけ方・育て方が悪い」「親の愛情不足」が原因ではありません。
- 脳機能障害とは、脳の働き方が違うという意味合いです。
- 特性には個人差があります。
- WHOの最新の分類では「発達神経症」と呼びます。

【イメージ】 定型発達と発達障害の見方

定型発達は全体を見るのが得意

かけざんの説明だな。
かけざんのやりかたをおぼえよう。



【イメージ】 定型発達と発達障害の見方

発達障害は部分を見るのが得意

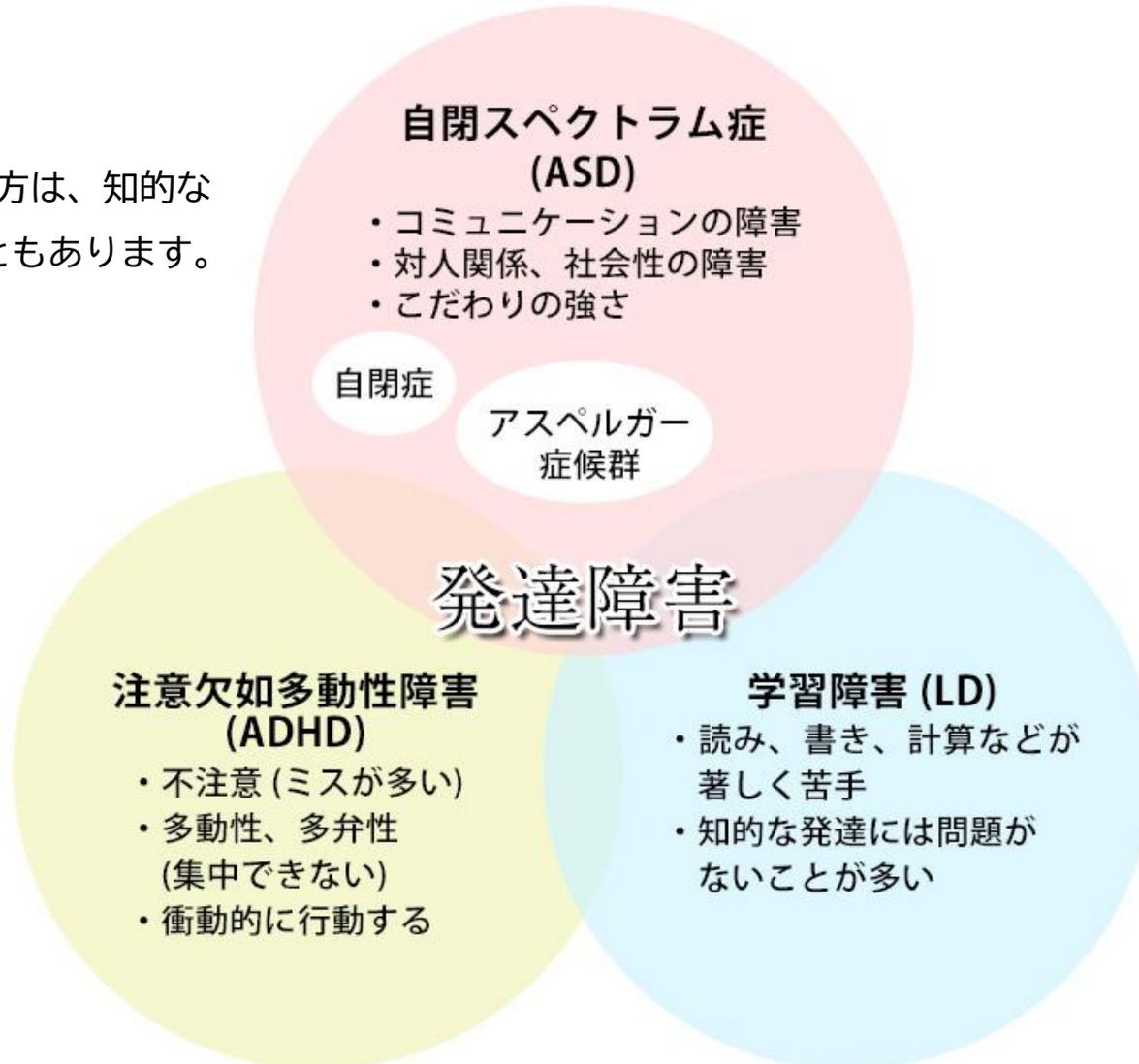
先生の指のバンソウコウどうしたんだらう？
「せんせー、指どうしたの〜」



発達障害の3つのタイプ

（社会福祉法人 恩賜財団済生会 ホームページより）

※ASD、ADHDの方は、知的な遅れを伴うこともあります。



自閉スペクトラム症とは

言葉や視線、表情、身振りなどを用いて相互的にやりとりをしたり、自分の気持ちを伝えたり、相手の気持ちを読み取ったりすることが苦手です。また、特定のことに強い関心をもったり、こだわりが強かったり感覚が過敏であるといった特徴を持ち合わせます。

(国立精神・神経医療センター「こころの情報サイト」より引用)

- コミュニケーションの苦手さ（独特さ）が大きな特徴
- パターン化された行動を好むことがある（常に同じであることが安心）
- 感覚の過敏さと反対に、鈍感さがある方もいらっしゃいます。

注意欠如・多動症（ADHD）とは

発達年齢から期待される水準に比べて、学校、家庭、職場などの複数の場面で、落ち着きがない、待てない、注意が持続しにくいといった特性が見られます。

（国立精神・神経医療センター「こころの情報サイト」より引用）

➤ 「多動-衝動性」と「不注意」の特性

多動-衝動性…考えるよりもまず行動する、じっとしていることが苦手、など

不注意…話を聞き漏らす、作業ミスが多くなる、など

➤ 多動性-衝動性と不注意の両方が認められる場合も、いずれか一方が認められる場合もあります。

学習障害（LD）とは

全般的な知的発達には問題がないのに、読む、書く、計算するなど特定の学習のみに困難が認められる状態をいいます。

（国立精神・神経医療センター「こころの情報サイト」より引用）

- 例えば、学校場面で…音読が苦手、テスト問題が読めない（先生に問題を読んでもらえば答えが分かる場合も）、予定帳を書くのが大変、など

これって「障害」でしょうか？

- 指示が入りにくい
- 言うことを聞かない
- 体の使い方が不器用
- 座るべき時に座ってられない
- 自分勝手なことばかりする
- 人の邪魔ばかりする
- 友達とケンカが絶えない
- 友達がいらない
- 読み書き・数に興味がない

※現在、小中学校で「特別な支援を必要とする児童生徒」は全体の8.8%いるそうです。

特性だけでは診断はつかない

- 「障害」とつくためには、小さい頃の様子や、実際に本人の様子を観察したり、親や先生等からの情報を集めたうえで、医師が診断する。
- 診断はつかないが、「発達凸凹」「傾向はあるね」「グレーゾーン（パステルゾーン）」と言われることも多い。
- 「発達凸凹」などに環境やその他の要因が加わって困り感が強くなると「障害」にあてはまることもある。

「発達障害」はグラデーション

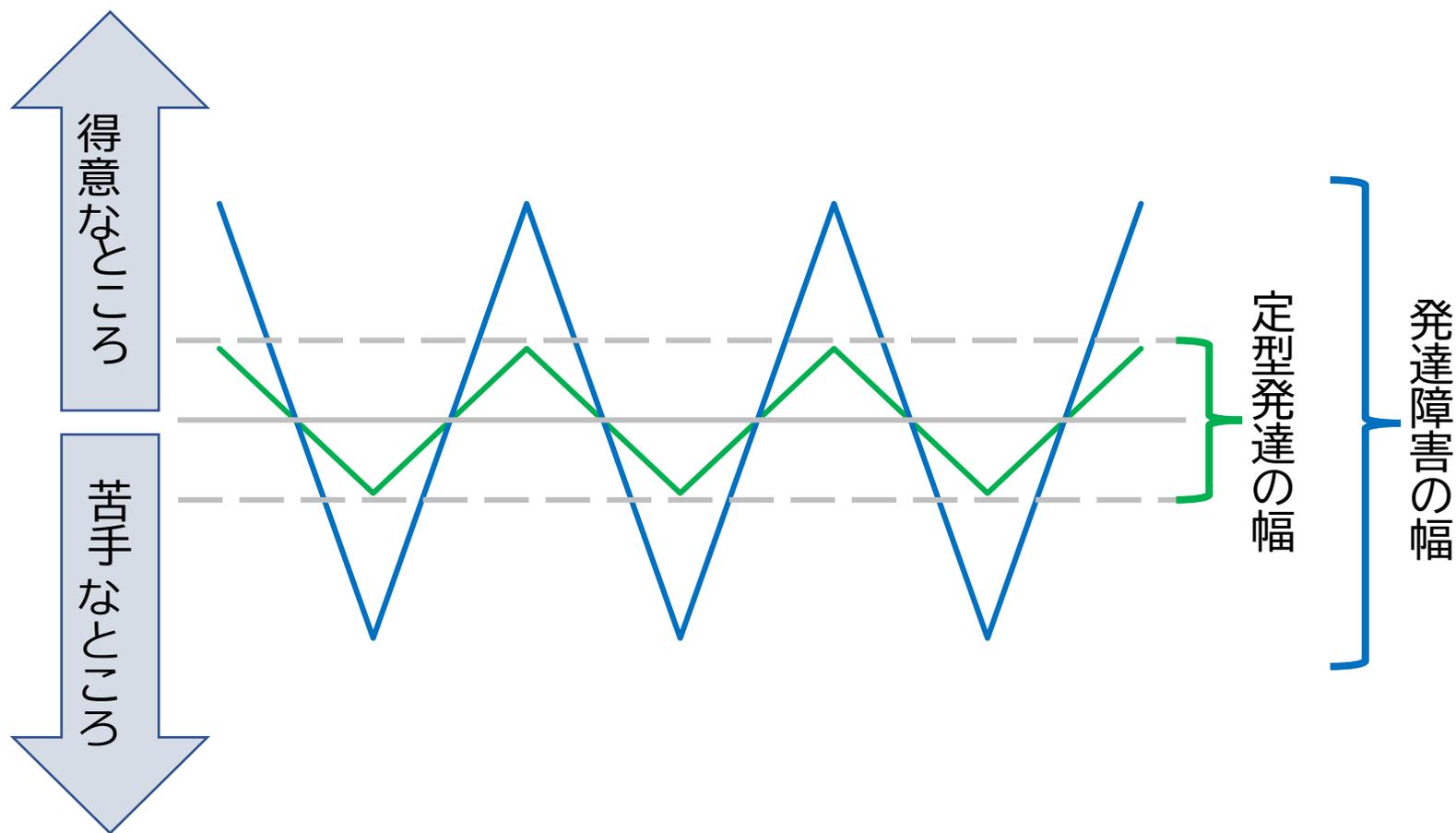
- 「グレーゾーン」と呼ばれる人たちも多い
- そもそもどこからどこまでが「障害」なのかわかりにくい

診断がついた人

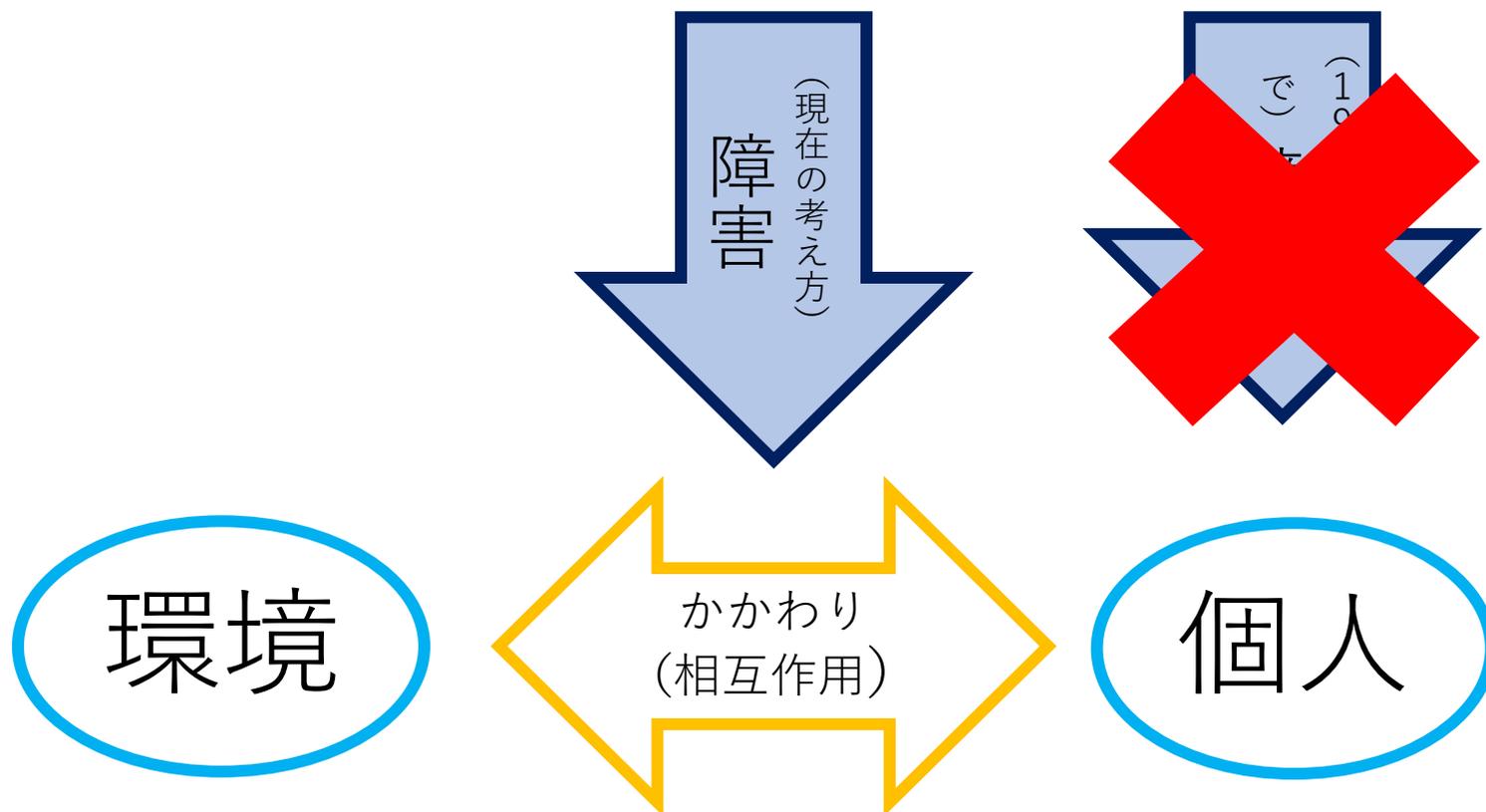
グレーゾーンの人

定型発達の人

発達障害のイメージ



「障害」についての考え方



※ 特性と障害はイコールではない

どんな時に「障害」となるのか

- 本人が困り感を持った時

※周囲が困り感を持った時だけではダメ

「本人の困り感」は周囲にはわかりにくい

今日は、「疑似体験」「ワーク」を通して

「発達特性の凸凹がある人」の体験をしてみましよう。

2. 疑似体験

- 不器用・急ぎ立て（体験）

利き手と反対の手で

ご自分の名前を

丁寧に 出来るだけ早く 書いてください

（反対の手で紙を押さえないでください）

疑似体験いかがでしたか？

こどもたちに共通することは…

「頑張っている、やりたいのに上手くできない」

→頑張っている時に、もしも

「何が言いたいの？」

「早く！」

「なんで上手く書けないの？」

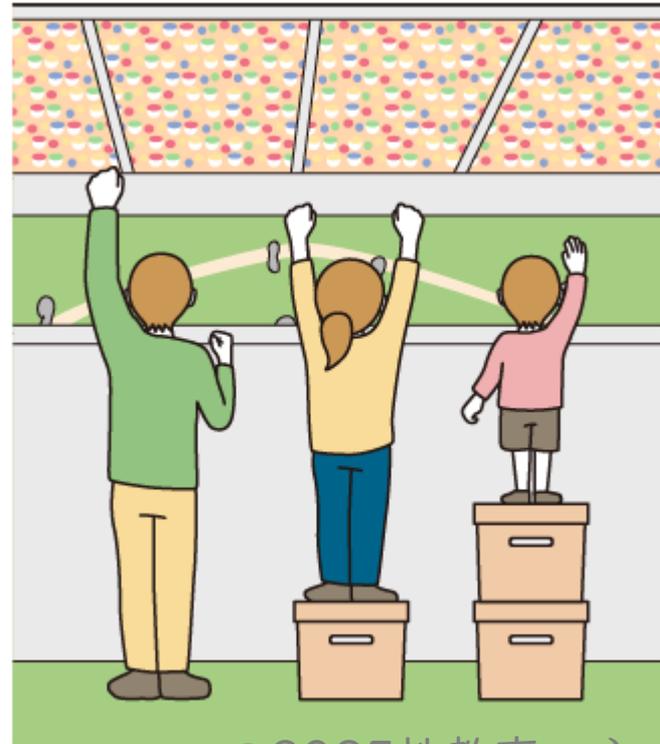
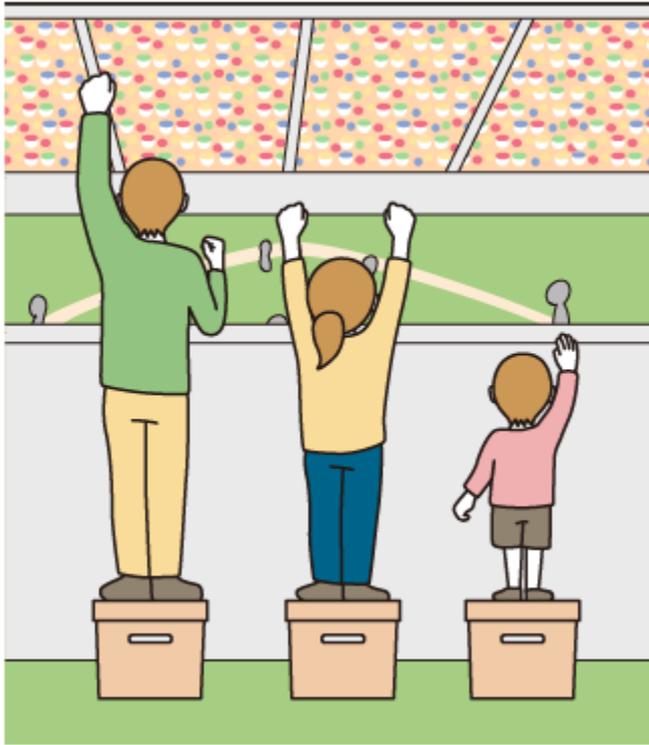
など声をかけられたら…？

疑似体験いかがでしたか？

- 特性を持ったお子さんたちの気持ちが少しでもわかってくださるとうれしいです。
- 特性を持っているお子さんたちは、多くが「本当に」困っています。
- 「発達特性のある・凸凹を持つお子さん」向けの対応は、「すべてのお子さん」の助けになります。

「合理的配慮」について

「平等」 < 「公平」



3. 支援について

< 全年齢共通 >

子どもの生活年齢にあわせた接し方

子どもの特性と精神年齢にあわせた伝え方

のふたつを大切にします。

スモールステップを意識します。



ポジティブ
支援

「肯定的に・穏やかに・具体的に」接すること

が良い信頼関係構築につながります。

スモールステップ

課題を遂行するために必要な行動を小さなステップに分け、段階的に達成していくことです

(前田卿子著：気になる子の「できる」を増やすポジティブ支援【幼児編】より引用)

例として「おもちゃの片づけ」場面
どんなステップがありますか？

片付けの声か
けに気付く

使っていたお
もちゃを種類
ごとに分別

おもちゃの箱
を持ってくる

種類ごと箱に
しまう

箱を棚に戻す



- ・手順は一例です。
- ・こどもや状況に応じて変わります。

「歯みがき」「着替え」など…
ぜひ手順を書き出してみてください



支援のコツ

- ①観察上手
- ②ほめ上手
- ③伝え方上手
- ④整え上手
- ⑤教え上手

(井上雅彦「子育てが楽しくなる5つの魔法 改訂版」より引用)

を目指しましょう。

こどもの行動を観察する

- つい「気になる行動」に目が行きがちでは…？
→ 実際にはたくさんの
「できていること」「良い行動」があるはずですよ



あの子、いつも
「ごめんなさい」
が言えないなあ



- 「ありがとう」
が言えるな
- 支援者が一緒なら
謝れたな

☆ 「良い行動」に目を向ける習慣を
（「当たり前前にできていること」も良い行動）

短所は、見方を変えれば長所に見えます

【例】	短所		長所
	興味のないことはやらない	↔	好きな遊びは集中して遊べる
	苦手な場面は立ち歩く	↔	好きな遊びは長く座っている
	「片づけて」と言っても遊びをやめない	↔	箱を置いて玩具をひとつずつ手に持たせると片づける
	走り回る	↔	元気で動くのが好き
	初めてのことは言葉の指示で取り組めない	↔	

【図】 前田卿子「子どもと上手に楽しくつきあう子育てのヒント」より引用（一部改変）

- こどもの行動を、具体的に細かく記録を書いてみる

☆行動（動詞で表せる）に注目する

☆どんな時に、どんな行動をするか
（そしてそのあとどうなったか）

例：自分勝手なことをする

→気になるものがあると、道路を確認せずに、一人で走って行ってしまう

→「おもちゃかして」と言われると、渡せず投げる

ほめる

「ほめる」のポイント

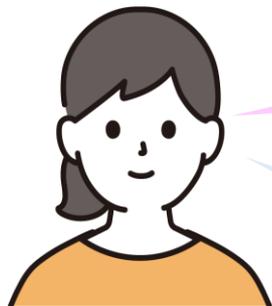
- 小さいステップで、すかさずほめる。

(0か100ではなく、まずは5から、10から)

- ほめることは、今できていることで良い。
- 今できていなくても、「やろうとしたね」と声かけする。
- 笑顔やgoodのジェスチャーだけでも良い。
- スキンシップが好きな子には、ハイタッチなども良い。
- 花丸、シールなど視覚的に「ほめられた」を実感できる工夫も◎

☆子ども自身が「ほめられた」と感じられる声掛け、関わりを！

「ほめる」ポイント



着替えをしようとしてるね
私もうれしいな

スモールステップで
ほめることができている

明日もやってくれるといいな

一見ほめているが
「要求」が含まれている

いろいろなほめ方

トークン・システム

【がんばりシール表】

		
6/26	6/27	6/28
6/29	6/30	おはよう を言おう！

子どもが喜ぶ誉め言葉は？

【ほめ言葉、いくつ浮かびますか？】

- ・すごい
- ・かっこいい
- ・すばらしい
- ・さすがだね
- ・やったね！
- ・いいね
- ...等々

・
・
・
・
・
・

思いつく誉め言葉を書き足してみてください

整える

環境を整える

- ・ ものの配置など目に見えるもの、五感で感じられるものや生活の流れやルールなどの目に見えないものも環境
 - （支援者の声のかけ方や立ち位置なども）
- ・ 同じ環境であっても、感じ方は人それぞれ
- ・ その子にとって、安心できる、分かりやすい環境は何か？

整える際のポイント

- ・ 気になるもの、苦手なものを取り除く

例①：給食中、窓から車をずっと見ている

→カーテンをする、座る位置を変える

例②：運動会でスタート時のピストル音が怖い

→イヤマフ着用+背中をタッチ、全体の合図を笛に

- ・ 事前に見通しを示す（ルールやスケジュールなど）
- ・ 視覚支援など、本人にとって分かり易いものを使う
- ・ 口頭指示は「短く」「具体的な言葉で」「簡潔に」
- ・ 選択肢から選ぶ、好きなものを取り入れる

伝える

声かけ・指示が上手く伝わっていないと感じたら…

チェックしてみてください↓

声掛けや指示を聞いている？（注目しているか）

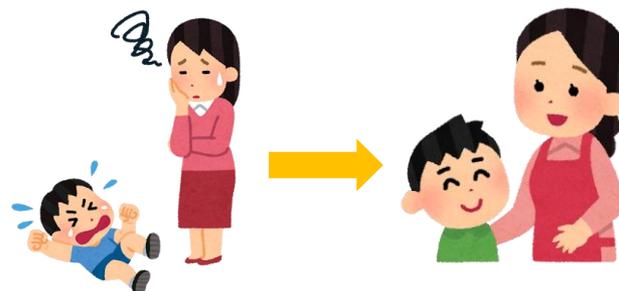
声掛けの内容を理解している？

できるけれど、忘れてしまう？

できるけれど、わざと（敢えて）やらない？

どこに当てはまるかによって、対応も変わってきます

声かけを聞いていない



声かけのタイミングは？

何かに集中しているときや、興奮している時などは声が届きにくい。

注意を引いてから

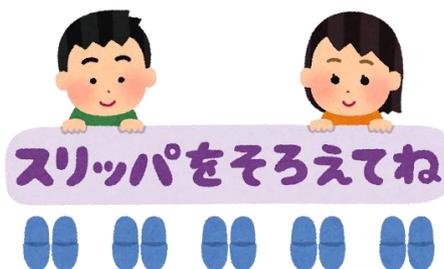
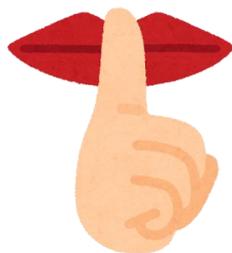
大切なのは視線を合わせること

- ・子どもの肩を叩いてから
- ・「〇〇ちゃん」「今からお話しするよ」などの声かけ
- ・絵カードや文字など視覚的な手がかりを使うのも◎



やり方を理解していない

- ・ 具体的な言葉を使う
(×「きれいに」「しっかり」「〇〇しないで」など)
- ・ 事前に何度か伝えておく
- ・ 短い指示をひとつずつ (手順表を使うのも◎)
- ・ 子どもの理解に合わせて、指さし・視覚シンボル・写真・絵などを使う



言われたことを忘れてしまう

意識をやるべきことに向けられるよう声掛けに工夫を

- ・ 本人の注意を引く、周辺の刺激をとりのぞく
- ・ 口頭指示とあわせて視覚指示も使う
- ・ 何度か伝える（「何をするんだっけ？」）
- ・ 友達や支援者と一緒にやる

など

わざと（敢えて）やらない

- ・注意を引きたい
→指示に従った後の結果(ほめ方やごほうび)を工夫する。
良い行動の時に注目してほめる
- ・失敗したくないからやらないことも
→こどもが「やれる」と思える内容かを確認する
お手伝いあり、一部分からで良い
「できた」で終われる経験を
- ・やるべきことそのものに興味がない
→課題自体を工夫して興味をひきつける
(子どもが好きなものを使う、ゲーム感覚のものなど)

伝える（叱る）ポイント

障害があってもなくても、
その年齢でやってはいけないことは伝える。

（ただし伝える工夫をして）

- ・ 本人に大きな不利益があること
- ・ 自分や他者を傷つけること 命にかかわること

などなど

伝えるポイント

- ・ してはいけない行動とともに、きちんと良い行動を伝える。
- ・ 叱りきって終わって良い。
- ・ 叱るときは、すかさず叱る。時間をおいた後でだらだら叱らない。
- ・ 支援者が感情的にならず、必要な伝達事項をクールに淡々と伝えるイメージで。

消しゴムを投げて遊んでいる

(危険なので) 消しゴムを机に置きます

(危険なので) 消しゴムを机に置きます

(危険なので) 消しゴムを机に置きます

ブロックンレコード
(同じフレーズの繰り返し)

気になる子が消しゴムを机に置く

はい、置きましたね

置くことできたね、
えらいね～

叱りきって終われている。

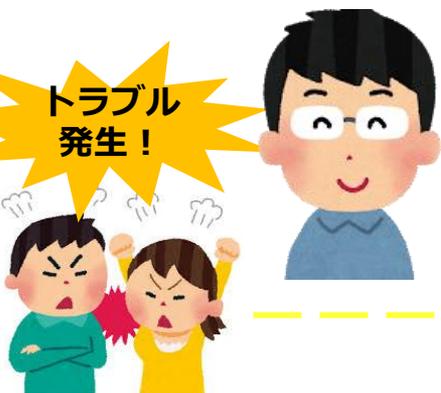
ほめて終わっているので、
「消しゴムを投げて、その後で置けば良い行動なんだ」と誤学習させると注意！

支援者の「伝える」を工夫してみましょう

成功しやすい伝え方

例) ボール遊びで
トラブル

トラブル
発生!



共感

「ボール使いたかったんだね。先生と貸してって言ってみようか。」

代弁

「今ボール使ってるんだって。一緒に違うボール使おう。」

代替案

「こっちにもボールあるよ。」

成功しない伝え方

一見効果的に見えることがありますが、ポジティブな成長にはつながりません。

定型発達においては、試行錯誤で学習するのは有効な場合も

脅迫

「ケンカするなら、おやつなしだよ。」

人権侵害

「どうしてケンカするの！赤ちゃん組からやり直しさせるよ！」

放置

「先生知らないからね。かってにしなさい。」

教え上手になるには

先ほどの

「おもちゃの片づけ」

片付けの声か
けに気付く

使っていたお
もちゃを種類
ごとに分別

おもちゃの箱
を持ってくる

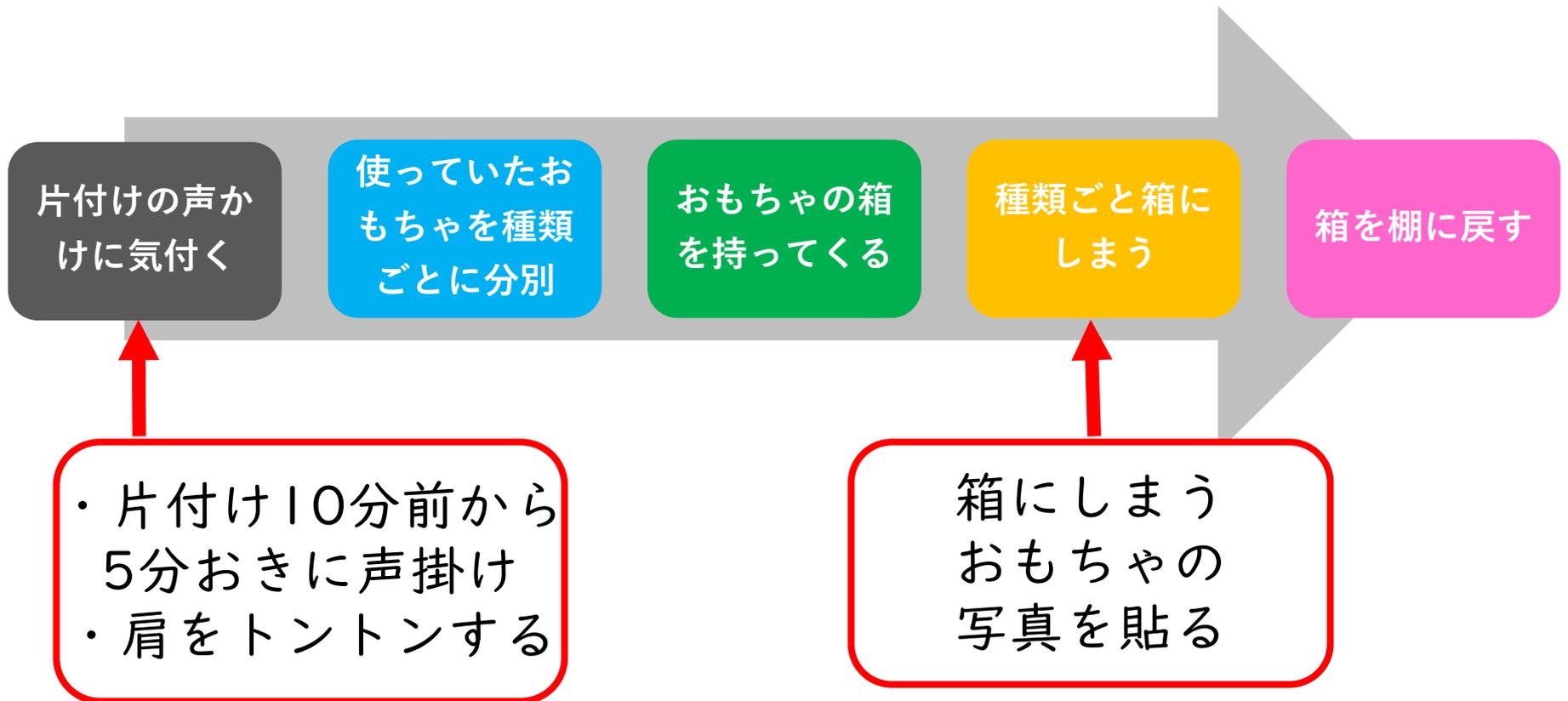
種類ごと箱に
しまう

箱を棚に戻す

一言で「片付け」と言っても、様々な手順が含まれます。
→手順を整理できると、支援の手がかりが見つかります。

どこにつまずいているか？

どこを手伝えれば出来るようになるか？が見える



いろいろな手伝い方があります

少

見守り

全体への声かけ



個別声掛け

やるべきものを手渡す

やって見せる(モデリング)



手伝って一緒に(二人羽織りのイメージ)



などなど

多

手伝うときのポイント

必要な支援を必要なタイミングで
先回りしすぎない

（何をしてほしいか、本人と話し合うのも◎）

→できるようになってきたら、手伝い方を見直す

先ほどの例で考えてみましょう

- ・ 気になるものがあると、道路を確認せずに、一人で走って行ってしまおう



観察してみましょう！

※「できていること」に着目することがポイント

- ・ 普段は手をつながなくても親と同じペースで歩ける
- ・ 手をつないで歩くのは可能。
- ・ 口頭の指示は2語文程度ならわかる。
- ・ 外出する際、事前に写真を見せると「ここに行く」とわかるが、口頭指示だけだったり初めての場所だと車を降りてすぐに走り出すことが多い。

例えば、こんな支援ができます

事前に

「手をつないで歩こうね」

「ゆっくりあるきます」

「お母さんと一緒に歩きます」

など、口頭と視覚的な支援で伝えておく。



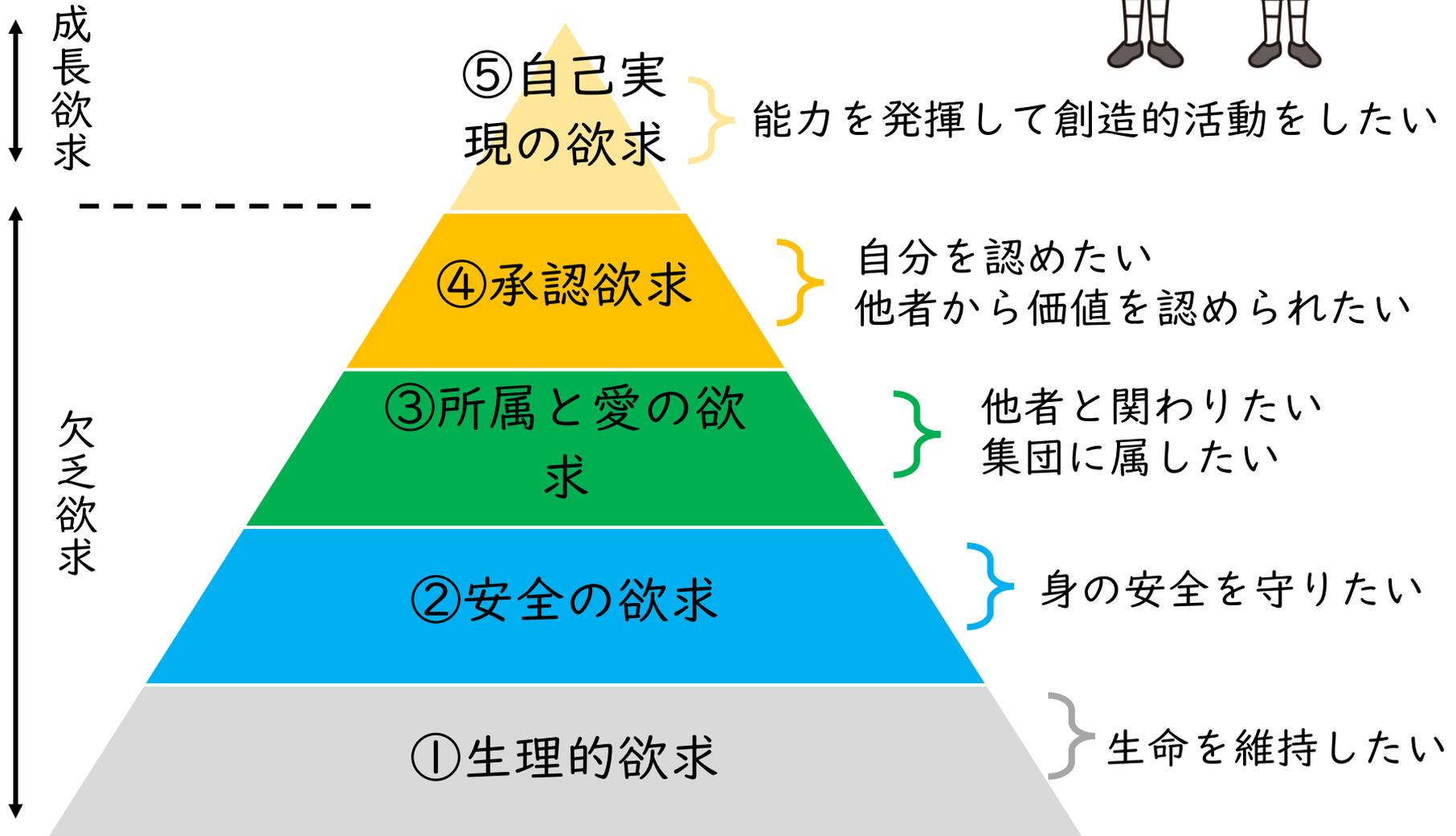
走りそうになっても

「手をつなぐよ」でつなげたりゆっくり歩けたら、
すかさずほめる！

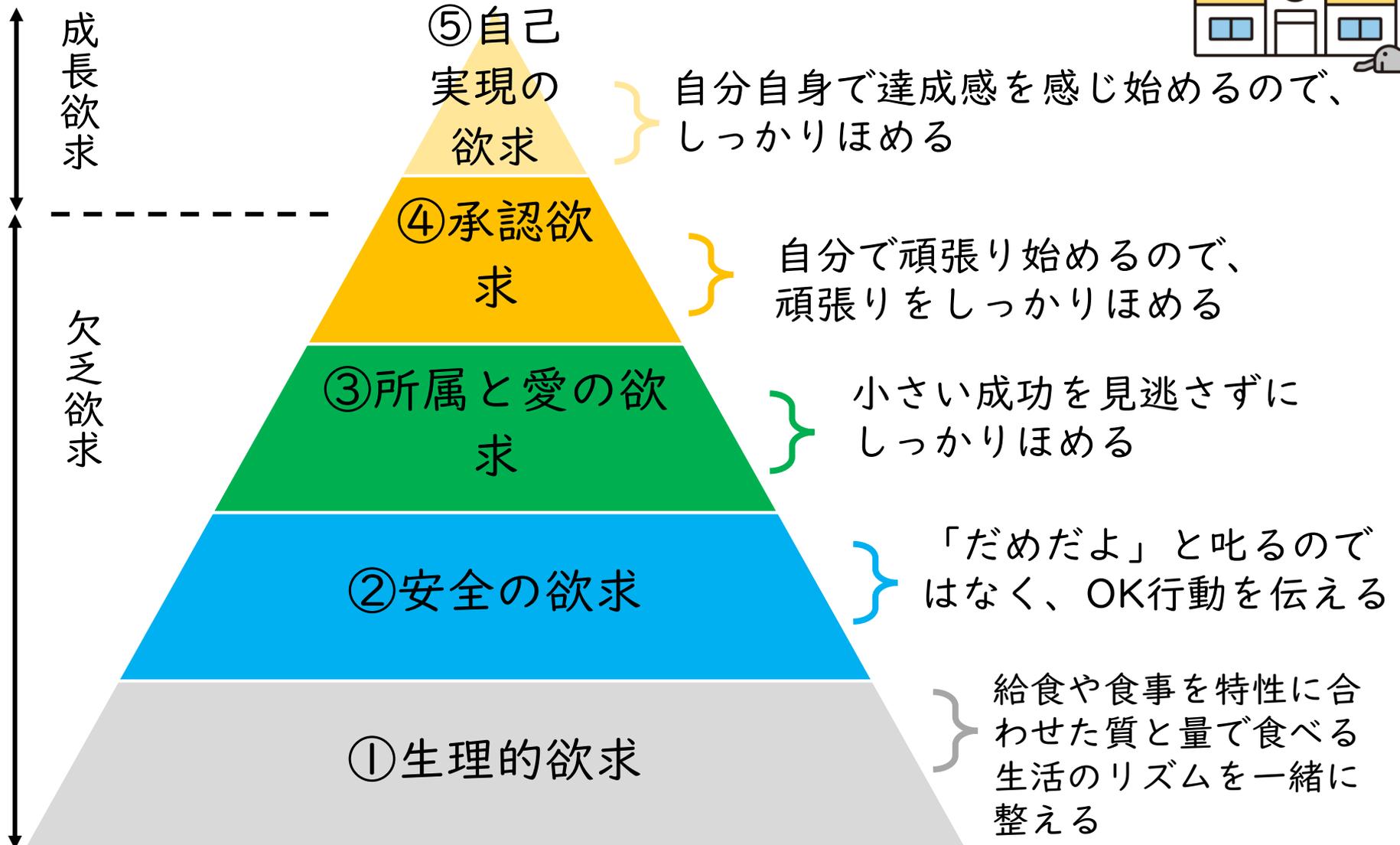
自尊心を大切に



【マズローの欲求5段階説】



家庭・園・学校等で考えると（一例として）



安心・安全を保障するコツ

- 「その人にとっての」安心・安全を保障する。
(例：コミュニケーションを強要しない)
- 可能なら、刺激を削減する。
- 決まった流れや行動（ルーティン）を作る。
- 見通し（スケジュール）を持たせる。
- セルフマネジメントの力をつける(早めに自分でケアできるようにする)

支援者も、自分を大切にしましょう

- 皆さんも、「いるだけで素晴らしい」存在です。
- つらくなったら、誰かを頼りましょう。

お子さんのあらわれを記録



- 乳幼児健診や母子手帳と一緒に使うことで、発育や発達をまとめて確認できたり、教育・就労等の相談や、学校や生活の場、就職や転職の場面でも、引き続き支援が受けやすくなります。
- 本人が大きくなった時に持たせて、進学や就職場面で配慮申請をしたい時、障害年金の申請に必要な書類を書く際に役立ちます。

サポートファイルの
ダウンロードはこちら



静岡市ホームページ

動画の視聴はこちら



「きらり」ホームページ

活用できる小冊子



- 子どもの発達が気になるお父さん、お母さんのために、子育てのヒントをつめこんだ冊子です。
- 子どもの発達が気になった時、子どもの良いところをみつけてほめ、苦手なところを手助けして上手くできるようにするための子育てのヒントを紹介します。子育ての参考にしてください。

活用できる小冊子



にじいろ子育てハンドブック
(0歳～18歳)



にじいろハンドブック
(18歳～)



- このハンドブックは、静岡市内のペアレントメンターが意見を出しあって作りました。
- (個性的なお子さんを持つ)先輩お母さんたちの子育ての経験の中で、知りたかった情報、困ったときの相談先、子どもの成長に応じた教育、福祉、医療などの地域情報をまとめています。メンターによるリアルな体験談や、ちょっとした本音も入れました。
- 今、お子さんの発達に不安を抱え、対応に悩まれ、つらさや孤独感を感じている皆さんに、ひとりではなく仲間や支援者がいることを知っていただけたらと思います。このハンドブックが、皆さんが前を向くことへの手助けとなれたら嬉しいです。

YouTubeによる
オンデマンド配信

保護者と支援者が学べる

発達支援ビデオ講座

トピック



※随時更新中



- ・保護者には家庭でお子さんと過ごす時間を充実させるコツを得るものとして
- ・支援者には事業所等でお子さんの支援を行う際の基礎(ベーシック)や保護者の方に説明していただくときの資料としてご活用いただける動画を掲載しています。

お問い合わせ

TEL:054-285-1124

静岡市発達障害者支援センター「きらり」

専用ページはQRコードより
(きらりHPからも視聴可能)



オンデマンド配信

現在、11本の動画が配信中です。
更に学びたい方はご活用ください。



参考文献・ホームページ

前田卿子

- ・ABCフレームでわかる！気になる子の「できる」を増やすポジティブ支援【学校編】（エンパワメント研究所 2011）
- ・ABCフレームでわかる！気になる子の「できる」を増やすポジティブ支援【幼児編】（エンパワメント研究所 2018）
- ・子どもの発達が気になるお母さん、お父さんのために 子どもと上手に楽しくつきあう子育てのヒント

井上雅彦

- ・子育てが楽しくなる5つの魔法 改訂版
（アスペルデルデの会 2017）

国立精神・神経医療研究センター「こころの情報サイト」

<https://kokoro.ncnp.go.jp/disease.php?@uid=MbkmLbVbTEhSpxyE>（参照日2025/05/02）

ありがとうございました。

静岡市発達障害者支援センター「きらり」